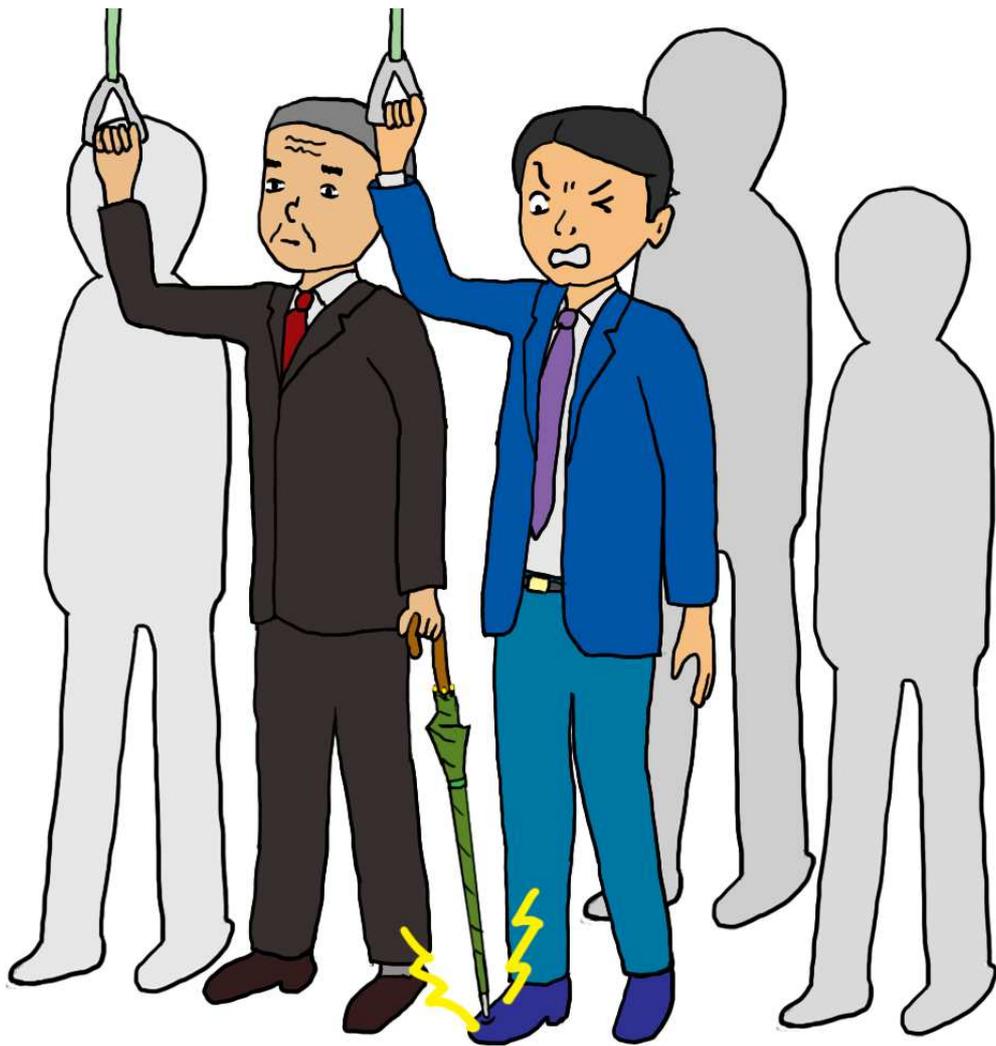


伝えられるよ



東郷 潤

朝、満員電車の中で、隣の人の傘が足に
食い込みました。



優しく話しかけました。



その人は、すぐに傘をどけてくれました。けれど全然、反省した風ではありません。

足はまだズキズキと痛みます。その日は一日中、足を引きずって歩きました。



ムカムカします。腹の虫がおさまりません。最悪の気分です。

別の日のことです。満員電車の中で隣の人の傘が足に食い込みました。



今度は怒って声を荒げました。



その人は恐縮して何回も謝ってくれました。

その日、足の痛みは続きましたが、気持
はスッキリしていました。



**痛かったら怒って下さい。
あなたの痛みを、伝えて下さい。**



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2019